

平成 25 年度 第 1 回運営委員会議事録

酵母遺伝資源運営委員会委員長

大矢禎一（東京大学）

NBRP 酵母代表機関代表

中村太郎（大阪市大）

分担機関代表

金子嘉信（大阪大学）

日時：平成 25 年 9 月 9 日（月）12 時 30 分から 1 時 30 分

場所：東北学院大学土樋キャンパス大学院棟会議室

- 出席者：大矢禎一（委員長）、金子嘉信、川向誠、北村憲司、北本宏子、下田 親、竹川 薫、東田英毅、土屋英子、中村太郎、西沢正文、原島 俊、丁 大橋（平岡 泰代理）、守屋央朗、福田 央、山下 朗、中沢宜彦、前川裕美
- オブザーバー出席：山崎由紀子（NBRP 情報中核機関代表）、佐藤清（NBRP 事務局長）
平田裕美（NBRP 事務局）、中原富美子（中核機関；記録）

■議事

報告事項

1. 平成 24 年度の NBRP 業務報告
2. NBRP 酵母データベースワーキング報告
3. ホームページの変更について
4. B-2 タームリソースのオーダー方法の変更について

審議事項

1. 運営委員の交代
2. NBRP 酵母についての意見徴収

■議事

報告事項

1, 平成 24 年度の NBRP 業務報告

NBRP の活動概要を中村代表と金子代表が報告した。その中で、EUROSCARF を訪問の際、リソース情報などを共有することの可能性について話したことの報告があった（金子代表）。

2, NBRP 酵母データベースワーキング報告

北村ワーキング代表より、昨年 12 月に行われた第 1 回ワーキングの報告があった。データベースワーキングのメーリングリストに酵母遺伝資源運営委員も希望があれば加えていくことになった。

3, ホームページの変更

中村代表より報告があった。山崎 NBRP 情報機関代表からリソースを使った研究成果の論文の LinkOut の説明があった。

4, B-2 タームのリソースの取扱について

中村代表より報告があった。大矢委員長より、B-2 タームで寄託者の承認が必要なリソースだと分かって、ユーザーが注文ができているのかと質問があった。これに対し、リソースのタームごとに order ボタンが色分けしてあること、オーダーの際にわかるように設定されていることが説明された（中村代表）。B-2 タームリソースの寄託者の東田委員から、まだ、新システムになってからのオーダーはないが、この度のオーダーシステム変更により、NBRP 酵母を煩わせることなく提供可能になったのは良いことだと思うとの意見があった。

審議事項

1, 新委員の承認

福田 央氏（酒類総合研究所 醸造技術基盤研究部門 研究員）

山下 朗氏（かずさ DNA 研究所 研究員）

中沢宜彦氏（沖縄科学技術大学院大学 研究員）

前川裕美氏（大阪大学大学院工学研究科 寄附講座准教授）

2, NBRP への意見徴収

フリートークの形式で委員から NBRP への意見を伺った。

- ・NBRP の存在意義に対する意見に対して、国民や政府関係者に説明できるよう、論文に使用された株など記録しておくことが必要。世界の研究の基盤であるという意識を持ってい

たい。(福田委員)

- 寄託するタイミングが分からないので声をかけてもらえるといい。
- 保存の目標数はどのように設定されているのか？(山下委員) これに対して、「目標数は予測できる数値を設定している。分裂酵母については、受け入れ上限は現在のところ設けていない」と中村代表が回答した。
- リソースのリクエストが所属の研究室に来る場合は、NBRPを紹介する場合も多い。
- 寄託時、技術員が出向いて手伝う方がよいか？(中村代表) という質問に対して、何年一何年の分を寄託する等の際には手伝いに来てもらおうと助かる部分はあると思う(中沢委員)。
- 寄託してもらうためには、現地に出向いて集取することも検討したい。(前川委員)
- 野村眞康先生の研究室(米国)から、菌株を寄託したいというメールがあった。外国から大量の寄託時どのようにしたらよいかアドバイスはあるか？(金子代表) という質問に対して、山崎情報機関代表からショウジョウバエはヨーロッパから大量寄託があったという例が紹介された。YGRCと野村研の担当者がコンタクトし、具体的な方法について相談したい(金子代表)。
- 退職に伴い研究室の研究テーマが変わることが多いので、研究者の退職予定をあらかじめ把握することにより、リソースが失われることは防げると思う(竹川委員)。
- 菌株を保存する-80度のフリーザーや、エアコン等で電気を大量に使用している。電力、経費節減のため、古い菌株などのストックを見直す必要があるのではないか。(竹川委員)
- (上記の議論を受けて) 事業を始めたころは、事業としての体裁を整えるため、保存株を、その重要性をあまり検討することなく、NBRP保存株とした経緯がある。保存菌株を減らすことによって電力経費が節減できるのであれば、なんらかの基準で重要度を判断し、保存菌株を整理することが必要かと思う。また、電力経費節減のためだけでなく、保存施設としてのクオリティを高く保つためにも、再整理は必要であろう(原島委員)
- 論文に掲載したかにかかわらず、リソースの必要性をチェックして、ストックする必要があるのではないか？(大矢委員長)